

第19号  
(発行:平成18年4月)

# ARC通信

アークハリマ株式会社  
〒671-0252 姫路市花田町加納原田771-1  
TEL:0792-52-2234/FAX:0792-52-0102  
e-mail eigyo@arc1.co.jp  
U R L http://www.arc1.co.jp

## 今月のトピックス

☆新メンバー紹介☆

～営業部に新しいメンバーが加わりました～

～新入社員～



営業1課  
**吉野 典秀**  
少しでも早くお客様のお役に立てるよう、しっかり勉強していきますので、宜しくお願い致します。



営業2課  
**寺越 博之**  
明るく元気にお客様とお付き合いできるように頑張っていきますので宜しくお願い致します。



営業2課  
**大野 麻衣子**  
たくさんのごことを身に付けて一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。

～総務より異動～



営業1課  
**土山 麻実**  
2月から営業1課の一員となりました。早く皆様に名前を覚えて頂けるよう頑張ります。



## 今月のARCコラム

### 「ステンレス鋼の局部腐食」について ☆応力腐食割れについて (Stress Corrosion Cracking) 通称:SCC

オーステナイト系ステンレス鋼でもっとも生じやすい腐食です。応力と腐食の相互作用により材料に割れが発生する現象です。応力により不動態皮膜が破壊されて腐食が発生し、その先端では応力集中(残留応力)により腐食が加速されて割れ状に腐食が進行します。

☆対策ポイント！！

- 材料選定の検討・・・耐応力腐食割れ性の材質の採用
  - ①オーステナイト系 × SCCの腐食例が最も多い。反面、入手性・加工性の良から多く使用されている。Ni量増加するとSCC性低下。
  - ②フェライト系 ◎ SCCは起こらないが、耐食性に難あり。近年温水タンクに耐食性に優れた高純度フェライト鋼が採用される。
  - ③二相系 ○ SCCが起きにくい材料。塩化物環境では優れた耐食性も発揮し使用事例も多い。特殊材料では非常に安価。
- 残留応力除去方法の検討  
応力除去焼鈍・ショットピーニング・バフ研磨・酸洗などの実施。
- 使用環境の検討  
使用環境中の塩素イオン濃度低減、塩素イオン濃縮防止がSCC対策となる。

一般的な応力腐食割れ対策である為、使用環境によって異なります。また、他の腐食要因との関連もある場合が多いと予測されます。お困りやご検討されていること、ご相談がありましたら、アークハリマまでご連絡下さい。

### 編集後記

角金・・・近々二相系ステンレスのお問合せが増加しています。欧州メーカーでも3年分位の受注残があるとのこと。特殊材のことなら何でもぶつけて下さい。  
上杉・・・石油精製等に使用する二相系ステンレス・SUS321が非常に好調です。品薄感もあります。使用の際は弊社まで御確認下さい。  
藤縄・・・若い営業マンが増え活気が増えています。負けぬよう頑張りますので今後とも宜しくお願い致します！！  
吉野・・・すっかり春になり、暖かくなりました。スポーツの季節です。スポーツを楽しんで健康的に過ごしたいと思います！  
吉岡・・・GWを控え、様々なお問合せが増えてきています！対応頑張りますので、宜しくお願い致します！  
横野・・・季節の変わり目の上に、連休前で忙しくしてしまいがちですが、体調を崩されないように十分お気を付け下さい☆  
土山・・・新入社員に負けぬよう元気に頑張ります。よろしく宜しくお願い致します！

編集担当 営業1課 藤縄 健二・横野 良子

ご回覧用

--	--	--	--	--